

# 月刊 地球基地

## 今月のごあいさつ



こんにちは。アーススペースのノザワです。

三月の季語の中に《山笑う》というものがあります。山が笑うなんていったいなんのこっちゃとお思いでしょうが、本当にあるんですって。いえいえ、実際に山から笑い声が聴こえるわけではありませんよ。そもそも「笑う」や「微笑む」という言葉は“花が咲く”という意味があるそうです。つまりこの言葉は山に花が咲き始め、春が訪れたという事なのです。昔の人は粋な事を表現したものです。女優の武井咲さんが「さき」ではなく『えみ』と読むのはこの為なのです。（ご両親の料簡が深い！）

他、春を示すものに《水温む》とか《鯉雲り》など情緒あるものから、《カボチャ》や《アスパラガス》等の野菜類、《イソギンチャク》に《猫の恋》なんてなものまで。いやあ、日本語って本当に面白いですねえ。

## ユメの後押し

2月某日、都立特別支援学校の生徒さんが来られ、見学会がアーススペース所内で行なわれました。未来ある若者の将来を担うかもしれない大切な日、気の込めた“おもてなし”を用意しました。

プレゼンソフトで当所の概略を説明し、ムービーで仕事や所内の様子を紹介した後、見学班と体験班に分かれます。見学班は当所のメイン事業である看板製作を間近で見ていただきました。このように作られているのだという事がわかっていただけたと思います。

体験班は「カッティングシート抜き」にトライしてもらいました。生徒さん一人一人の名前を切ったシートを自分で抜いて、プレートに貼ってもらうという作業体験です。そしてこの作業が曲者なのです。簡単に見えてこれが結構難しい。きっと悪戦苦闘するだろう…と思いきや、向いている方は向いているのですね。簡単に抜いてしまう方がいるのです。監修や手助けとして立ち合った我々所員一同感心しきり。引率の先生の方が「…！！？」と悶えていたほど(笑)。

高校生くらいの年齢は時に未来が漠然とわからなくなります。不安の大小や色の濃度、高さ深さはそれぞれです。そんな所に光を射させて道の在りかを教えてあげるのは我々の役目でしょう。もしもこの事がきっかけで未来へ進む不安を払拭できたなら、我々もこの上ない喜びになります。なによりも、皆さんの未来が素敵なものになる事を願っています。会の最後に生徒皆さんから感謝の言葉をいただきました。いえ、よい経験をさせてもらったのはこちらと同じです。こちらこそ、ありがとうございました！





## 輝ける日のために

アースベースは看板屋です。様々なジャンルの看板やサイン、ポスターなどを製作しています。企業さんはもちろん個人さんの依頼も喜んで受け付けています。遠慮なくどうぞ！

今回お仕事をさせていただいたのが都立城東職業能力開発センター江戸川校さん。

施工人は当所の精鋭5名。腕と経験によって磨かれた技術と印刷・加工された各種看板材料を小脇に抱え(正確には自動車の後ろに乗せて)、いざ同学校さんへ。『東京都立城東職業開発センター江戸川校人材育成プラザ』と刻まれたメタリックな表札がお出迎え。“こういうのも作れるのだぞ〜”と意匠を想いながら施工現場へ。綺麗な校内、見惚れながら作業開始。「安全第一」を始め(写真②)、各科の案内表示の取付け。屋外班はコース案内(同①)から車椅子用エレベーター案内(③)。実はこれ、地面にゴムハンマーを使ってトントンと直接貼り付けているのです。地味だけどこういう貼り方をしています。屋内班はエレベーター表示や学科案内を各階に取り付けに行きます。それぞれ施工が完了すると、確認として最終チェックと施工写真撮影。もちろんぬかりの



①



④

ないように。そして無事施工終了。お疲れ様でした。ちなみに写真⑤のような小さな表示板も取り付けました。しかしこの写真、よ〜く見ると板が被写体ではなく、ガラスに写り込んだ施工メンバーが主役になっていたりします(笑)。

看板やパネルとは皆が目にしています。そ

の主体は案内や広告にしか使われず、看板は看板、表示は表示であり、決してその作っている人などを気にしないのが現実です。看板を目立たせるためのライトこそ浴びても、スポットライトが当たる事はないでしょう。しかし気がつかない分からないものこそ看板やサインなのです。そんな彼等を輝かせる事に、誇りをもって取り組んでいます。密やかでも美しく。これからもそんな想いを持って取り組んでいきます。



②



③



⑤

## 編集後記

今月も拝読ありがとうございます。三寒四温をようやく越えて、ようやく春になったでしょうか。それでもまだ上着の襟を立てる日がたまにあります。新年度はもうすぐそこです。どうぞ体調に気を付けてください。

**【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE**  
健康者と障がい者が一緒になってサイン・看板・ポスターなどを製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL : 03-5875-5941

FAX : 03-5875-5942

mail : [info@earth-b.jp](mailto:info@earth-b.jp)

URL : <http://www.earth-b.or.jp/>